

(様式2)



平成30年1月9日

京丹後市議会議長 様

会派名 政友会  
代表者氏名 由利敏雄



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 平成29年11月30日(木)～12月1日(金)
- 2 場所 ①衆議院議員会館 1階講堂  
②国土交通省
- 3 目的 ①山陰近畿自動車道整備推進決起大会出席し要望活動  
②山陰近畿自動車道整備推進について要望
- 4 該当する政務活動費の使途項目  
要請・陳情費

5 支出経費の内訳と金額

交通費 (議員2人分)

乗車券	福知山～京都駅～東京駅間	56,280円 (往復分)
宿泊費	東京	18,000円
合計		<u>74,280円</u>

※ 実行程表 別紙のとおり

- 6 参加議員名 和田正幸、平井邦生 (2名)

7 調査研究成果の概要、所見 下記のとおり

8 成果物、資料等 下記のとおり

- ① 「山陰近畿自動車道の早期供用に関する要望書」以外の要望書は表紙のみ添付)
- ② 決起大会次第（出席者名簿、配席表等）
- ③ 要請・陳情活動写真集
- ④ 受領した名刺（国土交通省）
- ⑤ 活動に伴う実行程表
- ⑥ 領収書

活動内容と所見

① 衆議院第一会館

山陰近畿自動車道整備推進決起大会が開催され、関係地の議員として参加した。同大会では、石破衆議院議員主催者挨拶として始まり要望書が国交省関係者に手渡された。来賓あいさつのあと意見発表が行われ京都府、兵庫県、鳥取県知事をはじめ地元関係者として京丹後市は丹後王国の伊藤社長が実行と早期実現を訴え、兵庫・鳥取の地元の方の意見も同様にその必要性と各地域において地域活性化にはなくてはならないことであり早期実現を訴えた。最後に参加者全員でがんばろう三唱を行って閉会した。国会議員、関係地域の知事、府県議会議員、市町議会議員、商工・観光関係者また、東京丹後人会、東京久美浜人会などが一堂に会し、山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けて心を一つにした意義ある大会であった。参加した和田、平井両議員も事業促進に向け、認識と決意を新たにした。





## ② 国土交通省

政友会をはじめ、京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟の有志が一日も早い山陰近畿自動車道の整備について要望活動を行った。

ミッシングリンクとなっている山陰近畿自動車道の中でもまだルート決定もきていない場所があることを説明しながら近年発生している地震災害やゲリラ豪雨災害においては道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも山陰近畿自動車道の早期整備は不可欠であり事業進捗に向け必要な予算確保、峰山 I C から網野 I C までを国による早期事業化、網野 I C から府県境までの区間についてルート決定に向けた本調査実施の要望を行った。

石川道路局長からは高速道路の重要性と国道を含めた道路名称を国外の人でもわかりやすくするために新たにアルファベットと数字による表記にする説明も受けた。道路局長のタイトなスケジュールの中での要望活動であったが、他の要望者も来られる中で、やはりこれからもしっかりと多くの人員をもって実際足を運ぶ要望活動をしていくことが重要であると感じた要望活動であった。



政友会政務活動費による実行程表 (11月30日～12月1日)

11月30日

(往路)

京丹後市役所集合 出発(自動車) ➡ 福知山駅(福知山駅前駐車場)

JR 福知山駅出発(特急) ➡ JR 京都乗換(新幹線) ➡ 東京駅着 ➡

参議院議員会館

(15:30 山陰近畿自動車道整備推進決起大会(1階講堂))

宿泊 ヴィアイン新宿

12月1日

参議院議員会館 足立敏之参議院議員(国土交通委員) (10:45～)

国交省 石川雄一道路局長 (11:20～)

※山陰近畿自動車道の早期整備に関する要望書の提出要望活動

(復路)

国交省 ➡ 東京駅出発(新幹線) ➡ 京都駅着 ➡ (特急へ乗換) ➡

福知山駅出発(自動車) ➡ 京丹後市役所着 ➡ 解散